

地域支援だより

東京都立町田の丘学園校長
茂木 裕之
相談支援部

第2号 令和元年9月13日発行

《学校公開の御案内》

特別支援学校ってどんな所なんだろう？ いったいどんな活動をしているのかな？ 話には聞いていても、実際に見る機会がなくて・・・という方も多いと思います。また、本校児童・生徒の支援に関わってくださっている方でも、学校での子供たちの様子は見たことがない方もいると思います。町田の丘学園では、下記の日程で学校公開を行います。いろいろな活動場面がコンパクトに参観できるように準備してお待ちしております。是非、子供たちが生き生きと活動に取り組んでいる様子を御覧ください。

現在、町田の丘学園では改修工事のため本校舎と山崎校舎の二つに分かれて学習を進めています。下記のように校舎によって部門や学部が分かれていますので、お間違えのないようにお申込みと御来校をお願いします。

山崎校舎

(知的障害教育部門小中学部)

10月16日(水)

場所 山崎1-2-17

9時15分から12時まで

本校舎

(肢体不自由教育部門小中高等部)
(知的障害教育部門高等部)

10月29日(火)

場所 野津田町2003番地

9時40分から12時まで



★学校公開は外部の方対象です。ただし本校舎の公開に関しては、山崎校舎の保護者の方にもお申し込みいただけます。

駐車場がありませんので、公共交通機関を使ってお越しください。

学校間交流校への理解推進授業の紹介

6月20日木曜日に、本校コーディネーターと交流担当の教員が、交流校である七国山小学校の4年生に向けて理解推進授業を行いました。授業の様子をスライドや写真等でお伝えします。

人は、いろいろな力をもっています。
その力を発揮するのが、「得意な人」もいれば
「苦手な人」もあります。七国山小の4年生にも尋ねると、
「得意なこと」で手を挙げたり、自分の「苦手なこと」で
手を挙げたりして応えてくれました。

町田の丘学園の友達の中には、苦手さを抱える人がいます。
その人が学校で過ごしやすいように、その人の「困った」を
減らすために、町田の丘学園では、様々な工夫があります。
その工夫をスライドや実物で紹介しました。



体験コーナーでは、2つの体験を行いました。

- 1 「車椅子」体験
- 2 七国山小の代表6人による実演の体験

1 車椅子を操作するときのポイント、肢体不自由教育部門の教員から教わりました。

代表者に車椅子に乗ってもらい、乗っている時の気持ちを聞きました。目の高さ、後ろで押してくれる人へのこと等の感想が出されました。車椅子を押した児童も、自分が、気を配ったところや感想を話してくれました。

2 代表者6人の実演では、一斉に言葉を掛けられた人が戸惑い不安になることがあるという体験でした。

一斉に言葉を掛けられたとき、何が話されたのか、分からないことへの不安が、感想から上がりました。また「それが毎日続いたら？」と質問を投げ掛けられて、「すごく困る」という気持ちを児童が手を挙げ発表しました。

そのために、できることとして、代表の体験者と一緒に伝えたいことを絵や動作で表現する体験も行いました。七国山小の4年生全員で動作で表現したことが、9月に実施する学校間交流に生かされるとよいと思います。



七国山小学校4年生と町田の丘学園肢体不自由教育部門小学部・知的障害教育部門小学部の交流

日時：令和元年9月25日（水）9時30分から11時30分まで

場所：町田の丘学園 山崎校舎